

基本目標Ⅳ | 人が育ち文化育むまち

14 | 地域で育む子育て環境

施策範囲 子育て支援



現状と課題

- 社会構造の変化などから、人と関わる機会が減り、コミュニケーション力を育む体験が減少しています。家庭、学校、地域等でより良い人間関係を築く上で大切なコミュニケーション力を育む取組みが求められています。
- 急速な少子化の進行や核家族化とともに、女性の社会進出や就労形態の変化により、保護者の保育サービスに対するニーズが多様化しています。子どもが1日の大半を過ごす、教育・保育の場は子どもの成長に重要な役割を果たしており、適切な環境整備が求められています。
- 子どもの居場所づくりの推進及び学童クラブの民間活用も含めた管理運営のあり方の検討が必要となっています。

基本方針

- 地域に根ざした子育て環境の形成を図るため、市民と行政、市民同士が積極的にコミュニケーションを図るとともに、子育て世代のニーズの把握に努めます。
- 子どもの居場所づくりに向け、子どもの集う場所の整備や、民間施設を含めた保育環境の確保、ヒューマン・コミュニケーション力を育むための事業の促進に努めます。
- 課題を抱える家庭への支援を図るため、関係機関の連携を図った支援体制の充実に努めます。

前期計画の重点施策

- 14-1 子どもの居場所づくりとして計画的な子どもひろば、子育て支援センター、学童クラブの整備
- 14-2 民間施設を含めた保育環境の確保
- 14-3 ヒューマン・コミュニケーション力を育むための事業の促進

成果指標	数値目標		
	現状(平成26年度末)	目標(平成32年度)	備考
子育て環境が整っていると思う市民の割合(市民アンケート)	61%	➡	
子育て世代にとって子育てに関する各種情報が入手しやすいと思う市民の割合(市民アンケート)	49%	➡	

持続的なまちづくりの取組み

- 子ども・子育て支援やヒューマン・コミュニケーション力育成の推進
- 親子が安全で安心して過ごす居場所づくりと、相談支援体制の充実、周知
- 共働き家庭等の保護者が安心して働けるような子どもの居場所づくりとサービス向上に向けた取組み
- 子育てを学ぶ機会
- ひとり親家庭等自立促進

わたしたちができること

- 子育て支援に対する、民間事業者との協働や、高齢者などの活用による子どもの交流促進
- 子育て中の従業員に対する雇用者側の職場環境づくり

個別計画

えにわっこ☆すこやかプラン / 子どもの居場所づくりプラン / 「子どもの集う場所」地区別整備計画 / 恵庭市保育計画